

村のようす

(53年12月1日現在)

世帯数 1,488戸 (0)
 人口 7,364人 (+17)
 男 3,634人 (+ 5)
 女 3,730人 (+12)

広報 たまかわ

編集・発行

福島県石川郡
 玉川村役場企画課

印刷所

須賀川市加治町8-6
 (株) 円谷印刷



▶お山の大将の竹馬のり大会



▼お山の大将たちの餅つき大会



1979年

あけまして

おめでとう

ございます

玉川村行政区長会

会長 大野 金次郎
 副会長 矢部 宗郎
 外 区 長 一同

玉川村議会

議長 佐久間 倉太
 副議長 佐久間 安蔵
 外 議員 一同

玉川村役場

村 長 小針 千代之助
 助 役 草 野 勇蔵
 収入役 草 野 豊
 外 職員 一同

玉川村の躍進をはかるために 皆さん方の協力をおねがいいたします

新年を迎えて



玉川村 長

小針 千代之助

あけましておめでとうございます。
新年にあたり一言ごあいさつ申し上げます。

新年に当たり一言ごあいさつ申し上げます。不況の長期化や円高ドル安、米の生産調整等に象徴された厳しい昨年も過ぎてまた新しい元旦を迎えました。

村民の皆様にはどんなにも想えを新たにしないでこの歳をより幸福な生活を作る貴重な道程とするための計画と実践を考えておられることと思います。ねがわくばそうした期待と要請が地域社会の連帯と協調によって

新年を迎えて



玉川村議会議員

佐久間 倉太

村民の皆さん、明けましておめでとございます。

新春を迎え輝かし希望に満ちた明るい年でありますことを心からお祈り申し上げます。

昨年を振り返って見ますと国においては中国との平和条約が締結され、又、大平内閣が誕生するなど大きな歴史的なものがありました。反面我が村においては国の政

策による米の生産調整実効、更に全国的な不況に伴う企業の不振等、不況の波がおしよせる中で新しい年を迎えました。地方財政においても大きな影響を及ぼしております。私達村民を代表する議会人として、こうした中であつてこそ地域課題の解決のために執行機関と協調しながら財政の許す限り最大限の行政効果をあげるため最善の努力をいたしたいと思ひます。

どうか本年もより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。お祈り申し上げ新年のごあいさつといたします。

成果を上げ私達の玉川村が豊かな未来へ向つて着実な進歩と蓄積する歳にしたいと願つております。私は村長に就任して以来常に村民の皆さまの温いご理解と力強いご協力のもとに「より住みよいより豊かな活力のある玉川村の創造」を基本理念として、生活環境の整備、教育文化の充実、農業の近代化と産業の振興、福祉行政の推進等の事業を積極確に進めて参りました。即ち道路網の改良、学校幼稚園、公民館、体育館、就労センター等の教育施設、永道、住宅、保育所、消防施設等社会資本の蓄積を進め、更に企業の誘致に

よる雇用と所得の増大、農業基盤の整備と基幹作目の近代化をはかつてまいりました。また、住民の健康と医療を確保し、恵れない人達にきめこまかい愛の手をさしのべる社会福祉の諸施策を進めてまいりました。かえりみれば高度経済成長の時代から、ドルンショック、安定成長の現在までいわゆる激動と変革の時代に対応しながら、村政は種々の困難を克服して順調な発展をとげてきたと思ひます。これひとえに議員諸侯や村民の皆さまの連帯と協調の成果であり深く感謝申し上げます。

この間は負託された使命の重大さを肝に銘じながら謙虚に自己を反省し対話と討議の中から地域課題を選択し、公平誠実奉仕を信条として努力してきたつもりであります。しかしながら、住民生活の向上のために解決しなければならぬ村政の課題は山積しております。そして地方自治をとりまく内外の諸情勢は依然として厳しい状況にあります。

私は今後とも長期的展望の上にたつて過去の経験と実績を踏まひ新たな発想と計画のもとに村民福祉の安定と向上のため努力を続ける所存でありますのでさらに一層のご理解とに協力をお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げ新年のごあいさつといたします。

昭和53年度

お山の大将教室
42名修了



【表紙の写真参照】

今年度の少年教室を代表するお山の大将教室は、十一月八日より十二月十七日まで毎週日曜日、五回にわたり就業改善センターにおいて実施されました。今年度は西部地区の小学生五年、六年生を対象に、
①地域の遊び、集団の形成をねらい、その核となる子供リーダーづくりを目指す。
②子供文化としての遊びを身につけ地域の伝統を伝えていく。
③自然に挑み、親しみ、冒険と鍛練をはかることを目標に。
「村内の文化財をたねて」
「昔の人の生活を学ぼう」
「ゲームのつく歌」
「室内ゲームについて考えよう」
「正月のすごし方について考えよう」
と学習計画をたて、四十二名は最後まで欠席することなく熱心に学習にはげみました。

社会人としての 新しいスタート

1月15日は成人の日

二十歳を記念して

国民年金に加入しましょう



満20歳になると、国民年金
に加入できます。

若い人は、とかく「老後なんてまだまだ先の話」と思いがちでしょうが将来受け取る年金は加入が早ければ早いほど有利なのです。今後、老人の占める割合は増える一方で、老後の生活設計は、若いうちから考えておきましょう。そのためにも、二十歳になったのを機会に「国民年金」に加入しましょう。

ただし、厚生年金などの公的年金に加入している人は加入する必要はありません、他制度の配偶者や昼間部の大学生の皆さんは、希望によって加入することが出来ます。

国民年金に加入して、老後の暮らしを、より豊かなものにしたいたいです。

保険料は、一か月二千七百三十円（四月から三千三百円）です。

読書感想文コンクールの結果

昭和53年度の在学少年読書感想文コンクールは、11月に行なわれ村内各校より42名の応募者がありました。

入選者次のおりです

玉川一小 小林 恵子 2年
もうすぐおねえちゃん
曲山由起江 3年
星の子
吉田 智 3年
くもの糸
奥野 広美 4年
まほうの赤ちゃん
ましこのぶえ 1年
ことりさん
小針 由紀 2年
子ぎつねコン

川辺小
松山 里美 6年
ヘレンケラー
野崎加代子 4年
ジャングルブック
大竹 君子 5年
風車小屋だより
白旗 裕美 5年
足長手長
石森美智恵 2年
明日に向かって
須田 潤一 2年
にんじん
溝井美智子 3年
佳子という少女
須藤 早苗 1年
お菓子放浪記
車田 朋子 2年
走れメロス

◎入選作品を紹介します

ことりさんへ

須釜小一ねん
ましこのぶえ

ことりさん、わたしは、ことりさんが、たかにおそれそうになつたから、かわいそうだとおもつたけれど、ずうとよんでみたら山の木たちにたすけられたんです。よかったですね。いつも、おかあさんのために、さがしにい

つつかれえせんか。ことりさんもたかにおそれそうになつたとき、びつくりしたでしょ。

久保木淳子 3年
ガラスのうさぎ
車田 雅一 3年
分校日記の先生と私

わたしは、さいしょからたすかるとおもっていました。たすかなかつたら、おかあさんが、うんとしんばいしてたでしようね。ことりさんは、とべるはねが、あつたからよかったですね。

もし、とべないはねだつたら、たいへんだつたでしようね。

おかあさんの、びようきが、なおつていなかつたら、また、木のみをさがしに、いくんですか。

ことりさん、おかあさんのびようきはやく、なおしてね。そして、びようきが、なおつたら、なかよく、くらしてね。

【一口医学】 糖尿病患者の妊娠



最近では若い人の糖尿病が増え、糖尿病患者の妊娠も多くなりました。もし糖尿病がかなり進んでいて、眼底出血のひどい人や、尿にタンパクの出るジン（腎）症にかかっている人は、残念ながら妊娠はあきらめられる方が安全でしょう。しかし、そうした合併症のない人は妊娠可能です。ただし、妊娠してからだけでなく、妊娠する前から専門医の指導をよく受けることです。

糖尿病の人は大きい赤ちゃんが生まれやすく、難産になることがあるので、医師は赤ちゃんの発育の状態をみて、予定より早い日にお産するようにします。しかし、反対に赤ちゃんの発育が悪いこともあり、この場合には早めにお産する必要はありません。

胎児の栄養のためになどといって、食べすぎればたちまち糖尿病が悪くなつてしまいます。食事指導も細かくしてもらわなければなりませんから、妊娠期間中の診療は普通の妊娠よりひんばんに受けてください。

事件事故なくして

明るい村づくり

盗なん防止には

○大金の持ち運びは、ひとりより二人で車を利用しましょう。
○おでかけは、隣りにひと声、カギ、をかけてからにしましょう。

○お金はタンス預金より金融機関に預けましょう。

少年非行の防止には

○未成年者の飲酒、喫煙を放任しないようにしましょう。
○夜遊び、外泊を自由にさせないようにしましょう。
○子供の勉強部屋をたまり場にさせないようにしましょう。
○有害な環境をみんなの力で排除しましょう。

暴力犯罪の防止には

○新年会など酒を飲む機会が多いときです、節度ある飲酒をして迷惑をかけないようにしましょう。
○暴力はみんなの敵です、暴力を

受けたり、見たら一一〇番しましょう。

交通事故の防止には

○一度だけ、一杯だけが事故のも

とです。飲酒運転はしないよう、させないようにしましょう。

○無免許運転、速度違反、追越し違反は事故につながります、ルールを守った運転をしましょう。

○子供、老人を見たら十分注意をし被害者にさせないようにしましょう。



寒さも吹きとぶ熱戦

第七回柔剣道大会

公民館と体育協会主催の第七回玉川村柔剣道大会が、去る十二月十七日玉川村体育館で、村内の中学生と一般の選手合せて八十六人が参加し、白熱した試合が展開されました。

成績は次のとおりです。

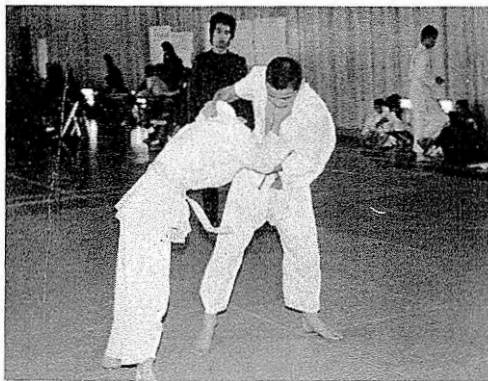
〔柔道〕

○中学生団体戦

優勝 須釜中Aチーム
準優勝 泉 中Aチーム

○中学生個人戦

(一年生)
一位 小針 成次(泉 中)
二位 須田 文彦(須釜中)
三位 塩田 敦(須釜中)
(二年生)



一位 宗形 光雄(須釜中)
二位 小林 菊雄(泉 中)
三位 宗形 秀典(須釜中)

(三年生)

一位 車田 宗司(泉 中)
二位 円谷 信明(泉 中)
三位 小林 和寿(泉 中)

○一般の部

一位 小針 義信(中)
二位 瀬谷 孝次(北須釜)
三位 大竹 長一(岩法寺)

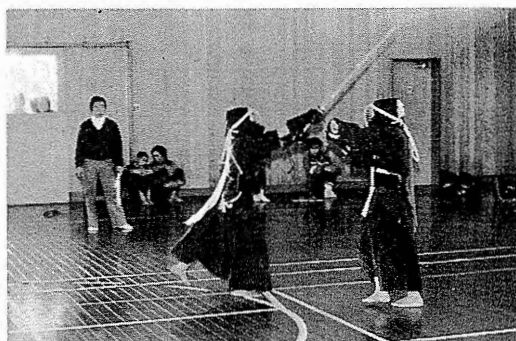
〔剣道〕

○中学生団体戦

優勝 泉 中Bチーム
準優勝 泉 中Aチーム

○中学生個人戦

(一年生)
一位 矢吹 源重(泉 中)
二位 関根 清美(須釜中)
三位 鈴木 孝行(須釜中)
(二年生)
一位 有賀 悦夫(泉 中)
二位 小針 周吉(泉 中)
三位 高橋 一郎(泉 中)
(三年生)
一位 石川 和典(泉 中)



二位 上野 寛司(泉 中)
三位 矢部 司(泉 中)
○一般の部
一位 鈴木 良市(北須釜)
二位 青山 明(南須釜)
三位 佐藤 豊勝(南須釜)

国保功労者として 矢吹・小山田氏 受 彰

国民健康保険制度施行四十周年記念式典が、去る十一月二十四日福島市で、福島県と福島県国民健康保険団体連合会の共催で開かれました。この席上、本村の国民健康保険運営協議会

委員として、永年国保事業の健全な発展に尽力されている、矢吹幾哉氏(小高)と、小山田康雄氏(小高)の両氏が、功労者として、福島県国民健康保険団体連合会長より表彰されました。

この記念式典は、我が国に国民健康保険制度ができて四十周年、また、福島県の県民皆保険体制ができて二十周年、オール七割給付が完成して十周年にあたるため開かれたもので、受彰されました矢吹、小山田両氏の永年のご労苦に感謝するとともに、さらに今後の活躍を期待したいと思います。

好評だった 玉川村民俗芸能発表会



玉川村の民俗芸能発表会は、去る十一月十九日午前九時から村体育館で盛大にびらかれました。

既存の芸能に加えて今年度地区民の努力で復活した六団体を含め十団体の発表があり、村民に民俗芸能に対する理解を深めてもらうとともに、伝統ある文化財を後世に伝えようとする意義深い発表会でした。

▶七十年ぶりに復活した小高平
鉦踊り

- | | | |
|--------|----------|--------|
| 1 | 庚申講 | (蒜生) |
| 2 | 平鉦踊り | (小高) |
| ◎ 出演団体 | | |
| 3 | 川辺草刈唄 | (川辺) |
| 4 | 天照念仏 | (四辻新田) |
| 5 | 中村神楽 | (中) |
| 6 | 平鉦踊り | (山小屋) |
| 7 | 獅子舞、平鉦踊り | (竜崎) |
| 8 | 念仏踊り | (南須釜) |
| 9 | 獅子舞 | (北須釜) |
| 10 | 中村万才 | (中) |

近世版 点と線

⑩

境界争いさまざま

岩谷浩光 誌

恐れながら書付をもって御願
い申し上げます、

一、小林孫四郎御代官所

奥州石川郡山小屋村と松平越
中守(白河藩主松平定賢)領分
の南北両須釜村との地境紛争事
件の現地調査のために、山本平
八郎様が近日現地に到着される
ことになったので、御旅宿は紛
争地点の最寄の場所であり、当
事者三ヶ村が何れも他領となる
村、しかも当事者三ヶ村の縁故
がなく、親しい間柄でもない村
を双方が相談の上で適當の村に
依頼しておくようにせよ、双方
相談の結果、榊原式部大輔様
(越後高田藩主)御領分で、し
かも紛争地に最も近接した母畑
村庄屋助右衛門宅を御旅宿とし
て使用させて頂くよう依頼いた
しました。

これについては当事者双方何
れも縁故じつ懇の間柄ではあり
ませんので一切かかわりもあり
ません。その外には最寄りに御
旅宿とするような寺院などあり
ませんので、右の助右衛門宅を
御旅宿として許可下さるようお
願い申し上げます。

九月

小林孫四郎御代官所

奥州石川郡山小屋村
名主代(理)佐一右衛門
組頭 喜右衛門
百姓代(表) 文之丞
山本平八郎様御手代(代官所役
人)

大田浦右衛門 殿

そして御旅宿の御用達し人とし
て、山小屋村からは名主代理を仰
せつかった幸八が、南北須釜村か
らは庄屋代理として北須釜村の重
右衛門ら二名が賄をはじめとする
諸御用達しをつとめることにな
り、代官所役人に届け出ている。
一方、御旅宿に決定した母畑村
では村役人連名で一札(承諾誓約
書)を提出して役人の指示に従う
旨を誓約している。

差出し申す一札の事

一、(前略)

山本平八郎様御到着の節当村
(母畑村)名主助右衛門宅を旅宿
として借受けることとし、借主、
貸主双方が連判の上書面で誓約い
たしました。

紛争当事者三ヶ村には縁故じつ
懇の者は居りませんし、この紛争
に関係している者も居りません。
また、御滞在中の賄その外の諸御
用達しは前記の通り三ヶ村から差
し出した兩人に御用を命じて頂き

たい。特に、

一、紛争当事者の三ヶ村はもとよ
り、その外のどなた様からも役
人に対する簡単な贈り物であつ
ても取次ぎは一切してはならな
い旨を申し渡されて居ります。
その外当地での調達品は如何に
安価の品々でも代金を請取らな
いようなことは致しません。
もしそのようなことがあれば、
私共(母畑村役人)の落度とし
て責任を問われるようなことは
いたしません。

しかも紛争三ヶ村からは代表が
来て御用を達しているので私共
は何か特別の御用向きで呼び出
されない限り一切関与いたしま
せん。
との誓約書を奉行所役人大田浦
右衛門に差し出している。

さらに念入りなことであるが
紛争当事者三ヶ村の村役人及び
百姓代表らからも母畑村庄屋助右
衛門と村役人が旅宿を引受けてく
れたこと、奉行所役人が滞在中の
御用達し人として兩人を派遣し
て、母畑村に迷惑のかららないよ
うに注意することなど双方の村々
で申し合せていることを述べて
いる。

(次号に続く)



たのしいも煮会



盛大に「も煮会」 川辺子供育成会

川辺子供育成会による「も煮会」が十一月二十三日（勤労感謝の日）に、川辺小グラウンドにおいて

地区ぐるみで健全な子どもの育成をめざし、親子で行なわれました。午前九時開会というのにまじき

れない子ども達が、八時頃から集まりみるみるうちに参加者が百五、六十人の大世帯とふくれあがりました。

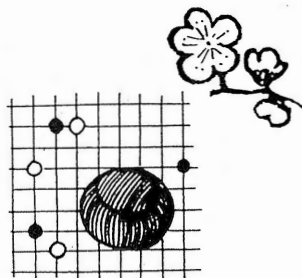
肉とコンニャクは会で用意し、野菜等は各自もちより、五つの班に別れて親子揃って料理して、煮あがるまでの間を親子一緒に、ビュッテフルサンデー等のリズム運動をしたり、幼児、おぼあちん達もうかれて踊りました。

班別対抗の玉入れ競技などをして楽しく運動したのち、大きな鍋を囲んで大きなドンブリで腹いっぱい食べた楽しい一日を過ごしました。

習字教室生募集

玉川村公民館では、初心者を対象とした習字教室を、一月十六日

新春の腕だめし 囲碁大会参加者募集



から三月までの毎週火曜日午後七時より二時間玉川村就業改善センターで開きます。受講希望者は、一月十三日まで玉川村公民館に申し込みください。

恒例の村民囲碁将棋大会を、一月二十八日午前九時から就業改善センターで開きますので、村民の皆さん新春の腕だめしをしてみま

新年みんなの誓い

いつでもどこでも 交通ルールを守りましょう。

けさも家族でたしかめあって。

◇おかあさんは。

○こどもを道路であそばせません。

○幼児を一人にしておきません。

◇運転する人は。

○スピードをひかえめにして安全運転につとめます。

○横断する人には十分に気をつけます。

○絶対に酒のみ運転はしません。

◇ほく、わたしわ。

○どうろであそびません。

○おうだんするときは右、左をよくたしかめます。

◎みんなで交通事故をなくし明るい村づくりにつとめましょう。

玉川村交通対策協議会

1月 公民館関係行事予定

せんか。参加される方は、一月二十六日まで玉川村公民館に申し込んで下さい。

1日	元日
4日	御用始め
6日	社会教育関係調査
8日	社会体育補助申請書提出
9日	文化財教室（7）
11日	高令者学級（老人福祉）
15日	成人式（午前九時三十分）
16日	文化財教室（8）
20日	習字教室
21日	石川地方老人クラブ研修会
23日	婦人学級（社会奉仕）
24日	社教定例研修、広報資料作成
25日	青年団交換会（沢田）
26日	習字教室
27日	あつま号来館



28日 村民囲碁将棋大会
30日 習字教室
31日 月末統計

おめでた

（十一月分の出生届書から）

地区	出生児氏名	保護者名
川	出 生 児 氏 名	保 護 者 名
川	目黒 広子	目黒 行男
小	真引 知子	真引 伸男
小	木田 美穂	木田 源三郎
中	石井 彌和子	石井 志郎
中	小針 鶴千代	小針 清志
中	岩谷 利行	岩谷 平夫
岩	小原 公太	小原 武夫
岩	湯沢 康太	湯沢 雄二
竜	鈴木 美紀	鈴木 庄康
南	小原 優和	小原 友威
北	渡辺 尚良	渡辺 隆友
北	森 隆義	森 安良
山	佐藤 信子	佐藤 義三
山	石森 光一	石森 寿男

おくやみ

（十一月分の死亡届書から）

地区	死亡者氏名	年令	世帯主名
川	矢吹 辰治	74	正美
小	石井 清助	55	スィ子
小	小林 滋	62	茂夫
竜	柳 沼 甫	72	石雄
南	飯島 三郎	62	式吉
南	飯島 タツヨ	73	武重